無印良品

扇風機・リモコン付
（低騒音ファン・サーキュレーションタイプ） 家 庭 用
ハイポジション　型番　Ｒ30M-HRB-W

取扱説明書

- このたびは、扇風機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 裏表紙の保証書は「お買上げ日・販売店名」などが記載された「保証書貼付用レシート」を販売店から受け取り、「保証書貼付用レシート貼付欄」に貼り付けて保管してください。
- 「取扱説明書（保証書）」は、お使いになるかたがいつでも見られるところに大切に保管してください。
- 小さなお子様が製品に触れないよう十分ご注意ください。
  ※羽根や首振り機構、高さ調節機構などの可動部に触れるとけがをするおそれがあります。

〈特長〉
本製品はサーキュレーターとして室内の空気を循環させたり、涼感を得るために使用できます。

〈便利機能〉
本製品は切タイマーの他に入タイマー機能を搭載し、それぞれを連動して使うことができます。使いかたは以下のページをご覧ください。

ページ
●切タイマー(用途例:就寝時)……………… 5 (3)項
●入タイマー(用途例:予約運転時)……………… 6 (4)項
●タイマー連動① (切→入) (用途例:就寝→起床)……………… 6 (5)項
●タイマー連動② (入→切) (用途例:予約運転と切り時間設定)…… 7 (6)項

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証書付(裏表紙)

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止	指示に従い必ず行う
分解禁止	接触禁止	
水ぬれ禁止	プラグを抜く	

⚠警告

禁止

- 電源コードをステップルや釘などで固定しない
  (電源コードが破損し、火災や感電の原因)
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電しない
  (電源コードが破損し、火災や感電の原因)
- 電源コードに物をのせたり、挟み込んだり、ベースで踏みつけたりしない
  (電源コードが破損し、火災や感電の原因)
- 電源コードやプラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
  (感電・ショート・発火の原因)
- リチウム電池を幼児の手の届くところに置かない
  (誤飲の原因)
- 羽根・ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない
  (モーター部が飛び出してけがの原因)
- 羽根・ガードを付けずに運転しない (けがの原因)
- ベースを付けずに運転しない (転倒して、けがの原因)

分解禁止

- 改造や必要以上の分解をしない
  (火災・感電・けがの原因)

水ぬれ禁止

- 製品やリモコンを水につけたり、水をかけたりしない
  (ショートや感電の原因)

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
  (感電の原因)

プラグを抜く

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
  (通電状態では感電やけがの原因)

指示に従い必ず行う

- 交流100Vを使用する
  (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因)
- 電源プラグについたほこりは清掃する
  (ほこりが付着すると漏電火災の原因)
- 電源プラグはがたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む
  (差し込みがゆるいと感電や火災の原因)
- 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する
  (誤ってかぶったとき窒息し、死亡する原因)
- 製品の組立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う
  (部品がはずれてけがの原因)
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する
  (そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至る原因)
  〈異常・故障例〉
  ・電源コードやプラグが異常に熱い
  ・電源コードに深いキズや変形がある
  ・首振り運転中やコードを動かすと通電したりしなかったりする
  ・焦げくさい臭いがする
  ・ビリビリと電気を感じる
  ・スイッチを入れても動かない　等
  ※すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼する

⚠注意

禁止

- 本製品は一般家庭用です。つぎのところでは使わない
  温室、ビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ、室外や40℃以上の高温になるところ、ガスレンジなど炎の近く、綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ、常に10℃以下になる低温なところ、引火性ガスのあるところ、工場内など油のつきやすいところ、有機溶剤を使用しているところ、直射日光等、強い紫外線の当たるところ
  (感電・火災・破損・故障の原因)
- 風を長時間、からだにあてない
  (健康を害する原因)
- カーテン・障害物のそばや不安定な場所では使用しない
  (転倒や転倒による部品の破損により、けがの原因)
- 製品を引きずらない
  (床が傷つく原因)
- スライドパイプに油などをつけない
  (パイプが急に下降して、けがの原因)
- リモコンの乾電池をショートさせたり、分解、過熱、火に入れるなどしない。充電しない
  (火災、感電、けがの原因)

接触禁止

- ガードの中や可動部へ指や物などを入れない
  (けがの原因。とくに小さなお子様にはご注意ください)
- 後ガードに顔を近づけない
  (髪の毛が羽根に巻き込まれ、けがの原因)
- 入タイマー設定中は羽根・ガードに触れない
  (羽根が回り始め、けがの原因)

プラグを抜く

- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
  (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)

指示に従い必ず行う

- 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する
  (羽根やガードがはずれて落下し、けがの原因)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
  (感電やショートして発火の原因)
- 取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する
  (着用しないとけがの原因)
- 高さ調節、風向きを変える、持ち運びを行う際は、必ず運転を停止させてから行う
  (けがの原因)
- リモコンの乾電池の取扱いは以下を守ること
  （＋）（－）を正しく入れる。使い切った乾電池はすぐに製品から取り出す
  (電池の使いかたを誤ると液漏れ、破裂、発熱のおそれがあり、けがや故障の原因)

各部のなまえと組立てかた

⚠警告

- **電源コードに物をのせたり、挟み込んだり、ベースで踏みつけたりしない**
  （電源コードが破損し、火災や感電の原因）
- **羽根・ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない**（モーター部が飛び出してけがの原因）
- **羽根・ガードを付けずに運転しない**（けがの原因）
- **ベースを付けずに運転しない**（転倒して、けがの原因）
- **製品の組立ては取扱説明書通りに行う**（部品がはずれてけがの原因）

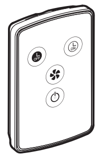
⚠注意

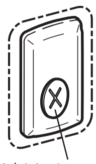
- **取りはずし・組立ての際は手袋を着用する**
  （着用しないとけがの原因）

付属部品

梱包場所は9ページを参照してください

リモコン





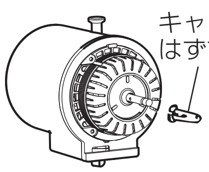
リチウム電池（CR2025）1個



※電池はリモコンと同じ袋の中に入っています。(裏面)

1

組立てる前に



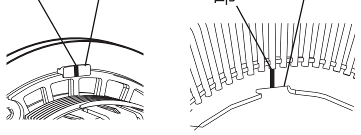
収納時のため包装箱、ポリ袋、キャップ（モーター軸のさび防止）は捨てないでください。

お願い

- **スタンドは単体では立ちません。組立て前は横向きにして、置いてください。**

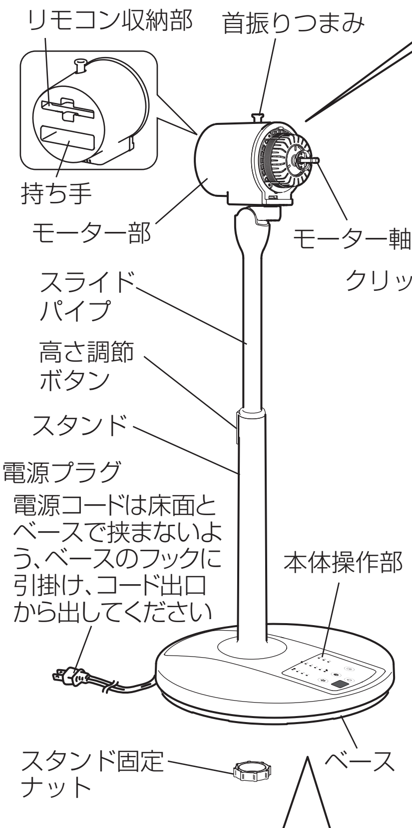
3

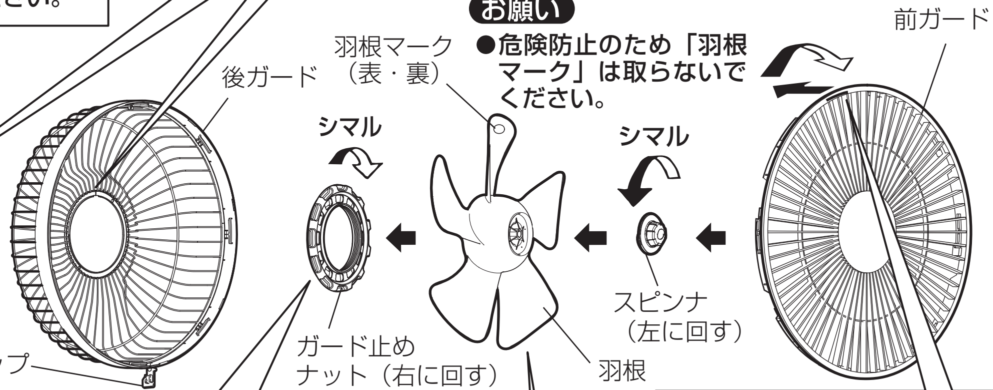
後ガードの切欠部をツメに引っ掛ける。
- **印同士をあわせる**



お願い

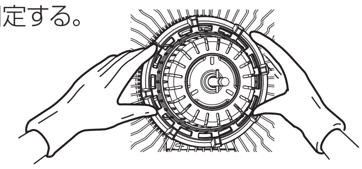
- **危険防止のため「羽根マーク」は取らないでください。**





4

ガード止めナットを右に回し、後ガードにがたつきのないようしっかり締め付けて固定する。



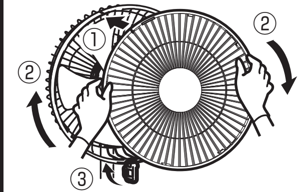
5

①羽根をモーター軸に差し込む。
- **羽根のみぞをモーター軸のピンに合わせる**

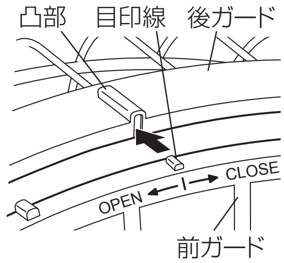


②スピンナを左に回して固定する。

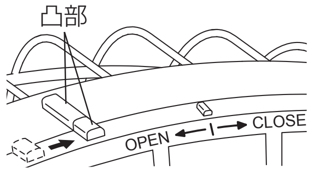
6



①前ガードの目印線を後ガードの凸部に合わせてはめ込む。



②前ガードの凸部が後ガードの凸部に合い、「カチッ」とロックするまで右に回す。(ロックが不完全ですとクリップが固定できません)

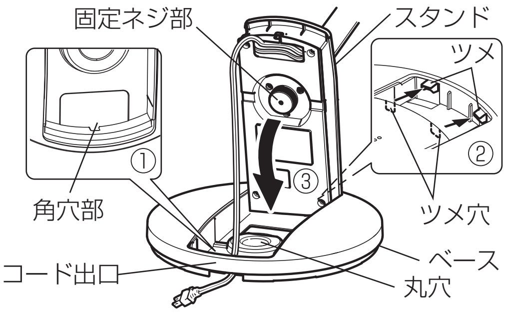


③クリップで固定する。

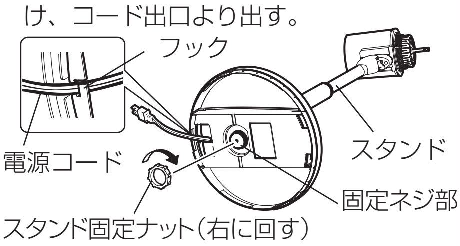


2

①電源コードをベースの角穴部に通す。
②スタンドのツメ穴をベースのツメに引っ掛ける。
③スタンドの固定ネジ部がベースの丸穴に入るよう静かにはめ込む。



④スタンドとベースの連結がはずれないようにゆっくりと横向きにする。
⑤固定ネジ部にスタンド固定ナットの「ユルム」「シマル」の刻印がある側を手前にしてネジ山を合わせ、かたむきのないようにしっかり固定する。
⑥電源コードをスタンドのフックに引っ掛け、コード出口より出す。



使いかた

⚠注意

- **ガードの中や可動部へ指や物などを入れない**　(けがの原因。とくに小さなお子様にはご注意ください)
- **後ガードに顔を近づけない**　(髪の毛が羽根に巻き込まれ、けがの原因)

1　電源プラグを差し込む

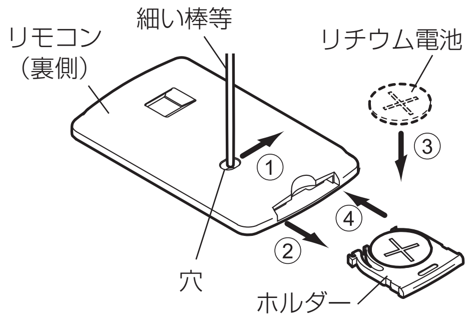
※電源プラグを差し込むと「ピッ」と音が鳴ります。

メモ　電源プラグがコンセントに差し込まれているときは、運転を停止していても操作部・スタンドの一部が暖かくなります。電子回路の待機時消費電力(約0.5W)によるもので故障ではありません。

2　リモコンに電池を入れる

付属のリチウム電池(CR2025)を入れる。

①裏側の穴に細い棒等を差し込み矢印の方向にスライドさせた状態で、
②ホルダーを引き出す。
③ホルダーにリチウム電池の⊕を上側にしてのせる。
④電池をのせたホルダーを「カチン」と音がするまで押し込む。



お願い

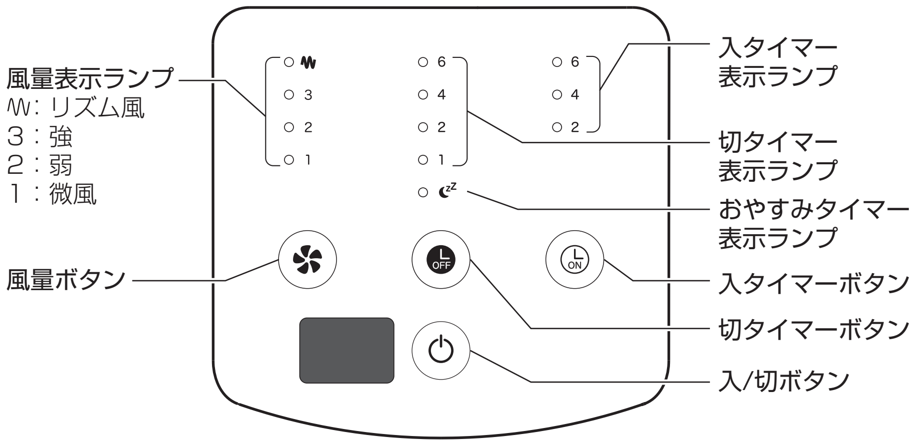
- **電池は必ずホルダーにのせてから差し込んでください。**
- **指定以外の電池は入れないでください。**
- **リモコンが動作しなかったり、操作できる距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。**
- **リモコンは落下など強い衝撃を加えないでください。**
- **リモコンの上に物を置いたり、踏みつけるなどしないでください。**

3　本体およびリモコンの操作

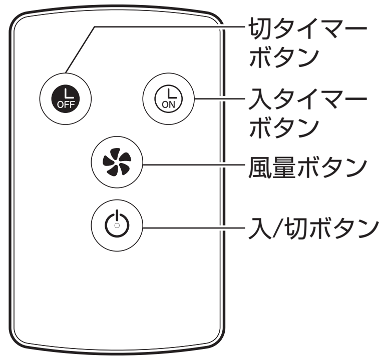
本体操作部の表示ランプを確認しながらボタンを押して操作する。

・ボタンを押すと本体から「ピッ」と音が鳴ります。
　※本体操作部とリモコンのボタンの機能は同じです。

本体操作部



リモコン操作部



お願い

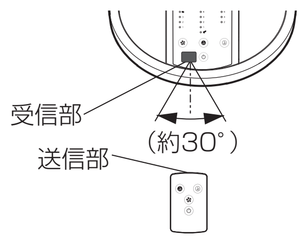
- **リモコン操作は送信部を受信部に向けて操作してください。**
- **ボタンの操作は中央部を軽く押してください。**
  端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。
  また、破損の原因になることがあります。



メモ　**リモコンの操作範囲について**

・受信部から約4m、正面を中心に左右に約30°以内です。
　送信部が床面に近いときはこの範囲でも操作できないことがあります。
　感度が悪くなった場合は新しいリチウム電池(市販品：CR2025)に交換してください。

・次のところではリモコン操作ができないことがあります。
　本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ、インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ、本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ、テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ。



（1）運転および停止する

1.入/切ボタンを押す。
・運転を開始し、風量表示ランプが点灯します。

2.停止するときはもう一度入/切ボタンを押す。
・運転を停止し、風量表示ランプが消灯します。

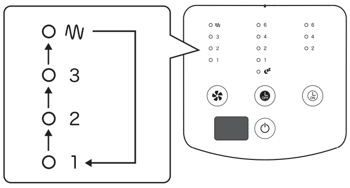
メモ **メモリー機能について**
本機は停止した前の状態を記憶するメモリー機能を搭載しています。入/切ボタンを押すと、停止前の状態で運転を開始します。ただし、電源プラグを抜いた後や停電した後に運転するときはメモリーが解除され、「微風」で運転を始めます。切タイマー、入タイマーはメモリーされません。

オートオフ機能について
本機は切り忘れ防止のため、運転中にボタン操作がない状態が8時間続くと自動的に運転を停止します。オートオフ機能を解除したいときは、運転中に本体操作部の切タイマーボタンと入タイマーボタンを同時に3秒間押します。運転が停止し、オートオフ機能が解除されますので、再び入/切ボタンを押して運転してください。電源プラグを抜くと、再びオートオフ機能が働くようになります。

（2）風量を切り換える

風量ボタンを押す。
・ボタンを押すごとに風量とランプが切り換わります。

メモ 微風は弱より弱い連続風です。
リズム風は自動制御で風量に変化をつけた風です。(制御パターンは1パターンです)
運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません。



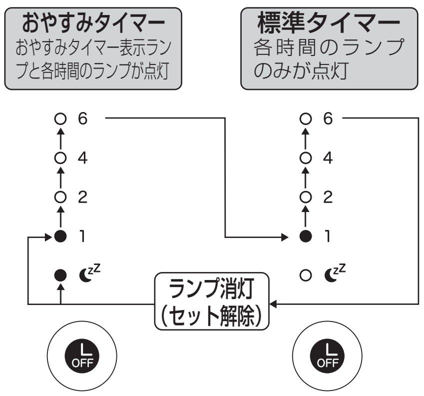
（3）切タイマー運転（自動で運転を停止する。「おやすみタイマー」と「標準タイマー」の2種類から選べます）

セットした時間が経過すると運転が停止します。
・おやすみタイマーは、時間の経過とともに風量が自動で下がります。
就寝時に風量をだんだん弱くさせたいときなどに便利です。
・標準タイマーは風量変化がなく、セットした時間が経過すると停止します。

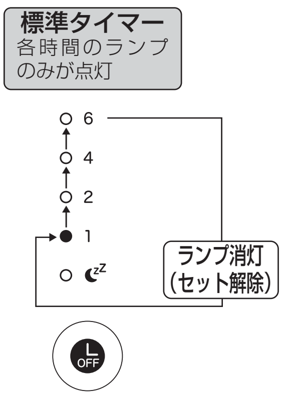
注意
●風を長時間からだにあてない
(健康を害する原因)

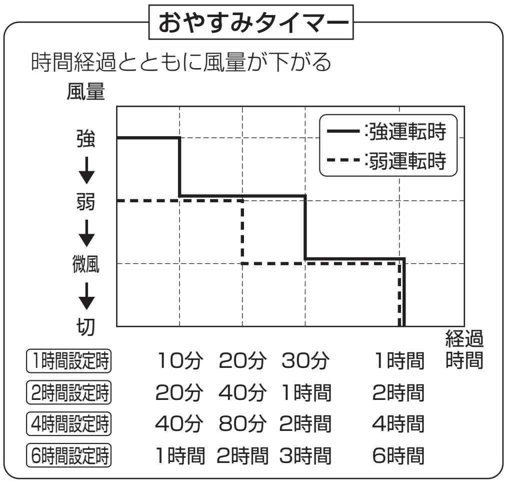
運転中に切タイマーボタンを押す。（切タイマー表示ランプが点灯し、切タイマーがセットされます）
・ボタンを押すごとに設定時間が変わります。

■風量が「弱」「強」のとき



■風量が「微風」「リズム」のとき

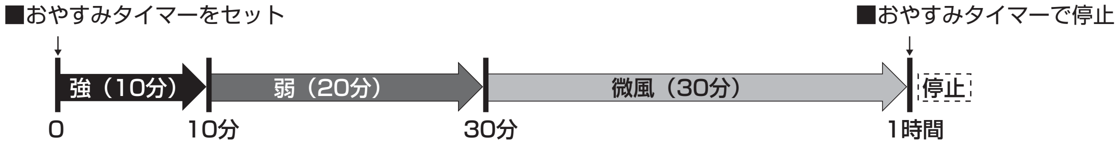




※「微風」および「リズム」は風量が最も弱いため、おやすみタイマーは設定できません。

メモ
・タイマー時間の経過中は時間経過とともにタイマーランプが移動します。おやすみタイマーでは風量変化とともに風量表示ランプも変わります。
・「弱」または「強」でおやすみタイマーに設定した後、風量を「微風」および「リズム」に切り換えるとおやすみタイマー表示ランプも消灯します。
・時間を変更した場合、変更した時点から新たにタイマー時間のカウントが始まります。
・タイマー時間は目安です。

設定例：風量「強」で1時間のおやすみタイマーをセット



（4）入タイマー運転（自動で運転を開始する）

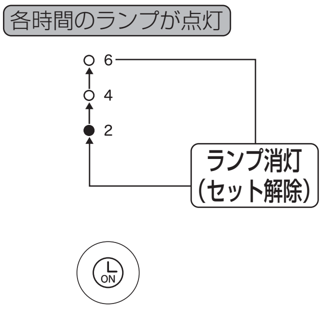
セットした時間が経過すると自動で運転を開始し、2時間後に自動停止します。運転開始時の風量は微風となります。
・就寝時などエアコンが停止した後に扇風機を運転させたいとき、または起床時に自動で運転を開始させたいときなどに便利です。

⚠注意

●入タイマー設定中は羽根・ガードに触れない
（羽根が回り始め、けがをする原因）

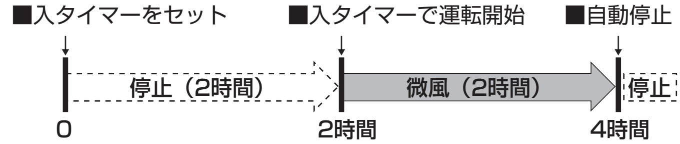
停止中に入タイマーボタンを押す。（入タイマー表示ランプが点灯し、入タイマーがセットされます）

・ボタンを押すごとに設定時間が変わります。



メモ
・自動停止時間を変えたいときは、続けて切タイマーボタン操作を行います。（7ページ（6）項を参照してください）
・運転開始の10秒前に「ピー、ピー、ピー」と報知音が鳴り、5秒前に「微風」の風量表示ランプが点滅を開始します。
・タイマー時間の経過中は時間経過とともにタイマーランプが移動します。
・時間を変更した場合、変更した時点から新たにタイマー時間のカウントが始まります。
・入タイマーで運転開始した後でボタン操作をした場合、2時間自動停止は解除され、通常の運転モードに切り換わります。
・タイマー時間は目安です。

設定例：2時間の入タイマーをセット



（5）タイマー連動①（切タイマー運転の後に入タイマー運転を連動して使う）

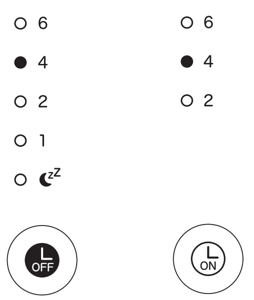
就寝時に切タイマーで停止させた後、再び起床時に運転を開始させたいときなどに便利です。

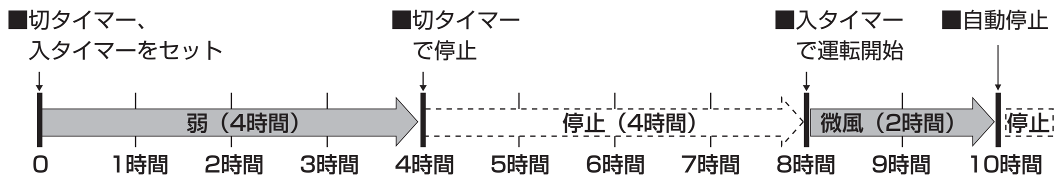
1. 運転中に、切タイマーボタンを押して切タイマーを設定する。（5ページ（3）項参照）
2. 続けて、入タイマーボタンを押して入タイマーを設定する。（6ページ（4）項参照）

・セットと同時に切タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると停止します。
続けて停止した時点から入タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると再び運転を開始します。

メモ
・切タイマーと入タイマーを設定した後、切タイマーを「セット解除」（切タイマー表示ランプ消灯）したまま3秒経過すると入タイマーも解除されます。
・入タイマーセットは切タイマー経過中であれば、途中からでもセットすることができます。この場合も、入タイマーの時間カウントは切タイマーによる運転停止時点から始まります。

設定例：風量「弱」で4時間の切タイマーをセットし、続けて4時間の入タイマーをセットした場合





（6）タイマー連動②（入タイマー運転の後に切タイマー運転を連動して使う）

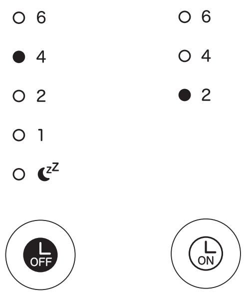
入タイマーで運転を開始した後、停止させる時間も設定したいときなどに便利です。

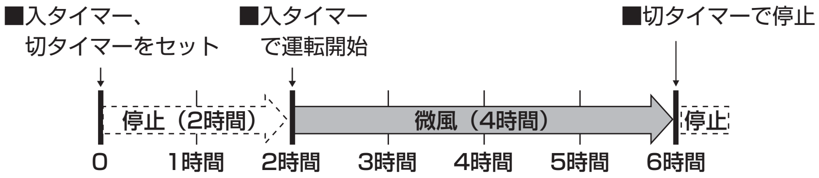
1. 停止中に、入タイマーボタンを押して入タイマーを設定する。（6ページ（4）項参照）
2. 続けて、切タイマーボタンを押して切タイマーを設定する。（5ページ（3）項参照）

・セットと同時に入タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると運転を開始します。
続けて運転開始した時点から切タイマー時間のカウントが始まり、セットした時間が経過すると停止します。

メモ
・入タイマーと切タイマーを設定した後、入タイマーを「セット解除」（入タイマー表示ランプ消灯）したまま3秒経過すると切タイマーも解除されます。
・切タイマーセットは入タイマー経過中であれば、途中からでもセットすることができます。この場合も、切タイマーの時間カウントは入タイマーによる運転開始時点から始まります。
・また、運転を開始した後でも切タイマーをセットすることができます。

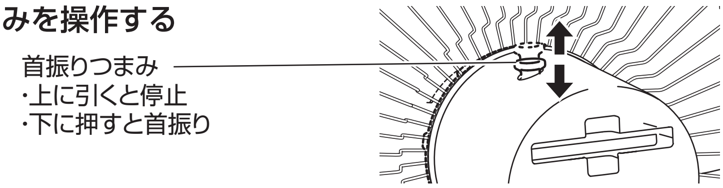
設定例：2時間の入タイマーをセットし、続けて4時間の切タイマーをセットした場合





4　首振り運転をする

首振りつまみを操作する



5　高さを調節する

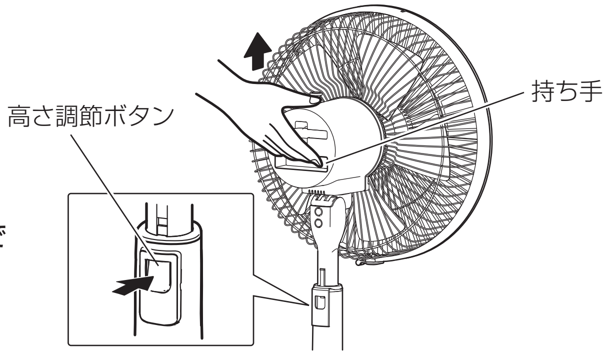
⚠注意

● **高さ調節、風向きを変える、持ち運びを行う際は、必ず運転を停止させて行う**（けがの原因）

高さ調節ボタンを押し、持ち手を持って上下させる。

・最下部・中間・最上部の合計3か所でスライドパイプがロックできます。また、ロック点以外の任意の高さでも使用可能です。

お願い　●持ち運ぶ際はロックした状態にしてください。（8ページ「9　持ち運び」参照）

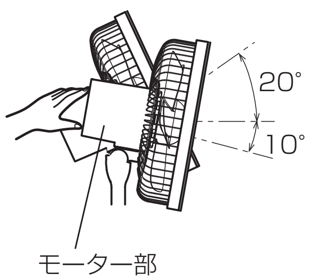


6　風向きを変える

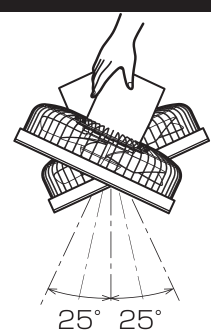
スタンド部を軽く押さえて、モーター部を上下・左右に動かす。

・操作時に「カチカチ」と音がします。

● 上下角度調節
上向きに2段階、下向きに1段階風向きを変えることができます。



● 首振り中心の調節
スタンド正面を中心に左右それぞれ2段階、25°まで首振り中心をずらすことができます。（設定した位置を中心に85°首振り動作を行います）

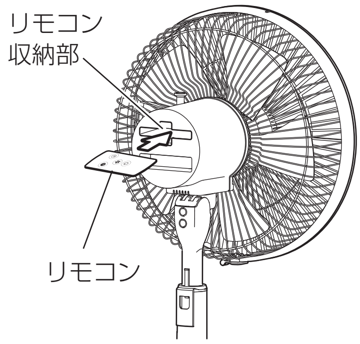


お願い
● この機能は首振りの中心位置を調節するものです。首振りの位置によってはお好みの向きに向かない場合があります。この場合は無理に動かさず、首振り運転をさせて向きを確認してください。

使いかた　つづき

7　リモコンの収納

モーターカバー後部のリモコン収納部に操作部を上にしてリモコンを差し込む。

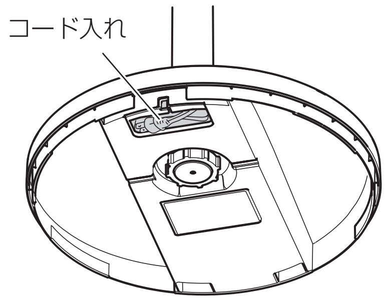


お願い

- リモコン操作部を下にして差し込まないでください。(リモコンがすべり落ちることがあります)

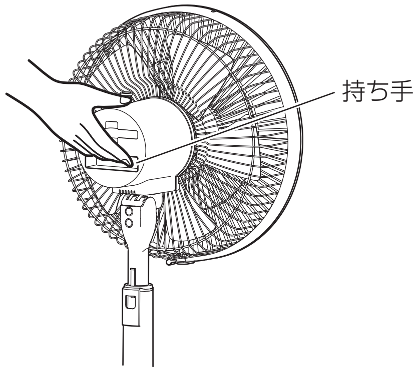
8　コードの収納

収納時はコード入れに納める。



9　持ち運び

モーター部を下に押し下げ、パチンと音がしてスライドパイプがロックしたことを確認してから持ち手を持って持ち運ぶ。



お手入れと保管のしかた

⚠警告

- **羽根・ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない**（モーターが飛び出してけがの原因）
- **製品の組立ておよびお手入れは取扱説明書通りに行う**（部品がはずれてけがの原因）
- **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く**（通電状態では感電やけがの原因）

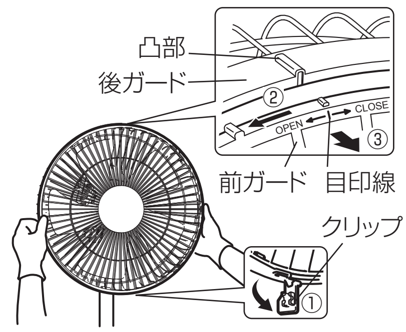
⚠注意

- **取りはずし・組立て・お手入れの際は手袋を着用する**（着用しないとけがの原因）

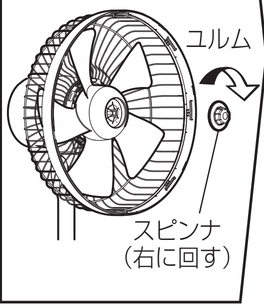
〈お手入れ〉

運転直後はモーター軸が高温になっていますので、お手入れは運転停止後30分程度待ち、手袋を着用してから行ってください。

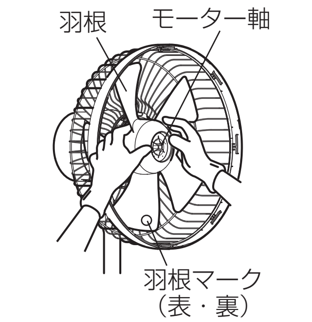
①クリップをはずす。
②前ガードの目印線が後ガードの凸部に合うまで左に回す。
③前ガードを手前にはずす。



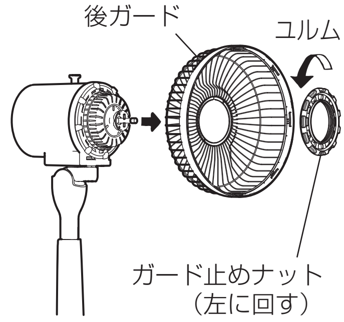
②スピンナを右に回してはずす。



③羽根は円筒部分を両手で持ち、モーター軸を親指で押さえながらはずす。（高温注意）



④後ガードをはずして清掃する場合は、ガード止めナットを左に回してはずす。



- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取る。
- モーター部のほこりは掃除機等で取る。

※可動部（モーター、首振り機構部など）への注油の必要はありません。

お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
  シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザー等けんま材入りの洗剤（変質・変色の原因）
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は取らないでください。
- スプレー〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉をかけないでください。（破損・変質の原因）
- お手入れの際、羽根・ガード等に強い衝撃を与えないでください。（破損する原因）
- 羽根に水分が付着した状態でモーター軸に取付けないでください。（モーター軸に錆が発生し、羽根がはずせなくなる原因）

〈保管のしかた〉

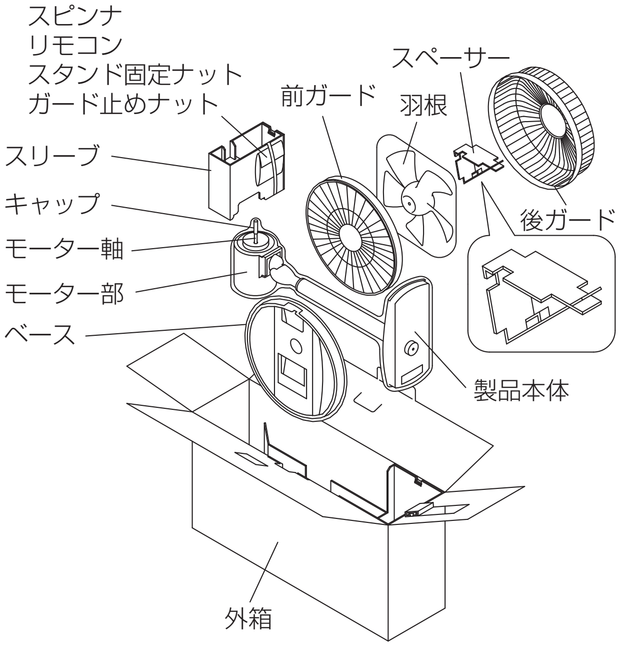
お願い

● **製品組立て状態での輸送は行わないでください。**
輸送する際は箱に収納してください。
(製品・部品が破損する原因)

収納のしかた

1. 製品を分解するまえに前ガードを正面に向ける。
● 正面に向かない場合は、首振り運転させて向けてください。
2. 3ページ「各部のなまえと組立てかた」の逆の手順で製品を分解する。
3. モーター軸にキャップをかぶせ、製品本体をポリ袋（大）に入れ、外箱に収納する。
● モーター軸を正面に向けて収納してください。
4. ベースをポリ袋（中）に入れ、図の方向にして収納する。
5. 羽根をポリ袋（中）に入れ、スペーサーと合わせて後ガードの中に入れる。
6. 前ガードを後ガードにはめ、ポリ袋（中）に入れて図の方向にして収納する。
7. スピンナ、リモコン、スタンド固定ナット、ガード止めナットをポリ袋（小）に入れ収納する。
8. スリーブをモーター部の上にかぶせる。

※湿気の少ないところに保管する



長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

● **本体への表示内容**

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

(設計上の標準使用期間とは)

● 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
● 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)



【設計上の標準使用期間】12年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火･けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　　(JIS C 9921-1による)

環境条件	電圧	単相100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	JIS Z 8703の試験状態を参考
	設置条件	標準設置	取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	仕様(P.10)による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8(h/日)	
	1日使用回数	5(回/日)	
	1年間の使用日数	110(日/年)	
	スイッチ操作回数	550(回/年)	
	首振運転の割合	100(%)	

「故障かな?」と思ったら

次のような症状があれば点検してください。
(3ページ「各部のなまえと組立てかた」、4～7ページ「使いかた」、8・9ページ「お手入れと保管のしかた」参照)
点検処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店に点検・修理を依頼してください。費用についてはお買上げの販売店と相談してください。

こんなとき	原　　因	点検・処置	参照ページ
運転しない	電源プラグが抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込む	4
リモコンで操作できない	電池が古くなっていませんか	新しい電池に入れ替える	4
	⊕⊖が逆になっていませんか	電池の向きを正しく入れる	
	距離が遠すぎませんか	受信範囲内で操作する	
	受信部が汚れていませんか	汚れを取り除く	
・運転中に異常音や振動がある ・羽根が回らない	羽根にガード、ガード止めナットが当たっていませんか	ガード止めナットを緩みのないように正しく確実に締め付ける	3
	後ガードの向きは正しく取付けられていますか	後ガードを正しい方向に取付ける	
	スピンナ、ガード止めナットが確実に締め付けてありますか	緩みのないように正しく確実に締め付ける	
モーター部分が異常に熱い	ほこりがたまっていませんか	ほこりを取り除く	8
操作部・スタンドの一部が暖かい	電子回路の消費電力によるもので故障ではありません		4
羽根がときどき止まる	リズム風ではありませんか	リズム風は運転と停止を繰り返しているため、ときおり羽根が止まることがありますが、故障ではありません	5
切タイマー運転で風量が変わる	おやすみタイマー設定ではありませんか	おやすみタイマー設定では時間経過とともに風量が弱くなります	5
運転が自動的に止まる	8時間オートオフ機能によるものではありませんか	切り忘れ防止のため、運転開始後ボタン操作がない状態で8時間を経過すると自動的に停止します	5
	入タイマーによる運転ではありませんか	入タイマーによる運転では2時間を経過すると自動的に停止します	6
突然動き始めた	入タイマーによる運転ではありませんか	入タイマーによる運転では設定時間を経過すると自動で運転を開始します	6
入タイマー運転で風量が変えられない	入タイマー運転による風量は「微風」のみです 他の風量は選択できません		6
首振りが左または右に偏る	首振り中心の調節によるものではありませんか	首振り中心の調節を行う	7

商品名における「低騒音」の表示について

「低騒音」とは、騒音(運転音)が35dB以上～45dB未満である家庭用電気製品をいいます。
一般的な目安として図書館の館内は40dB程度とされています。

仕　様

(強運転の場合)

型　番	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	最大風速(m/min)	風量(m^3/min)	騒音値(dB)	首振角度(度)	質量(kg)	コードの長さ(m)
R30M-HRB-W	100	50	27	228	25	39	85	4.5	1.9
		60	29	220	24	38			

※運転停止状態で電源プラグがコンセントに差し込まれているときの消費電力は約0.5Wです。(電子回路が操作を受付けるために必要な電力です)

保証とアフターサービス

保証（保証書）について

- 保証書は、所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年間です。保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。
  その他詳細は、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間について

- 当社はこの扇風機の補修用性能部品を、製造打切り後8年保有しています。
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へお申しつけください。
お買上げの販売店にご依頼できない場合は、各窓口へお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談
<株式会社　良品計画　お客様室>

受付時間：平日　　　10：00〜21：00
　　　　　土・日・祝　10：00〜18：00

総合相談窓口	フリーダイヤル 0120-14-6404

株式会社　良品計画　お客様室
〒170-8424 東京都豊島区東池袋 4-26-3

■所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

■電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①上記利用目的のために､弊社グループ会社･協力会社などに業務委託する場合。
   ②法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口のご案内（家電品）

修理窓口　**家電品の修理の問合せ・修理の依頼**
受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

インターネット **www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

修理を依頼されるときは

●「故障かな?と思ったら」(10ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

●保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。

●修理料金は
技術料+部品代などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容
品名・型番・お買上げ日・故障の状況　(できるだけ具体的に)・ご住所・お名前・電話番号

※ダウンロード版は保証書を削除しています。

愛情点検

☆ 長年ご使用の扇風機の点検を！

ご使用の際 このようなことは ありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。 ●こげ臭いにおいがする。 ●モーター部が異常に熱い。	▶	**使用中止**	故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。 点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

1401875HK2001